

1年次 大学出張講義 実施しました！

7月25日(水)に、山形大学・東北大学・新潟大学から8名の先生方をお迎えして出張講義をしていただきました。今回は8つの分野から2講座を選択して受講してもらいました。みなさんの感想文から講義を振り返ってみました。大学で学ぶ学問に直接触れることで今後の文理選択の参考にするとともに、学問の奥深さや面白さを感じ取れたのではないのでしょうか。

★第1分科会 東北大学 文学部 心理学専攻 坂井 信之 先生
心理学で何がわかるの？

今までの「心理学」のイメージを取り払うような、とても興味深い講義だった。「心理学」というと、難しい理論がたくさん出てきて敷居が高い感じがしたが、トリックアートやスターバックスの企業戦略にも「心理学」は用いられており、身近な所で関係している学問なのだと気づくことができた。また、文系とはいいつつも、理系にも通じる部分があるので、幅広い視野で学ぶことができるのも魅力だと思った。(Iさん)



★第2分科会 新潟大学 法学部 木南 直之 先生
法を学ぶとは何か？

法は「なぜ?」「どうして?」という批判的思考が大切で、法を暗記するものではないのだと知った。「法の中での人とは何か」、「ものとは何か」という話がとても興味が湧いていて楽しかったです。法について勉強してみたいなと思えて、とてもよかったです。(Oさん)



★第3分科会 山形大学 人文社会科学部 経済・マネジメントコース 安田 均 先生
日本の労働市場

非正規雇用の割合が、女性が7割も占めていることに驚いた。家計補助的労働としてパートをする際、一定の収入を上回ってしまうと、男性が支払う税金も上がってしまうため、フルタイムでは働かないなど細かいところまで学ぶことができた。もっと雇用について深く学びたいと感じた。(Sさん)



★第4分科会 山形大学 人文社会科学部 グローバル・スタディーズコース 摂津 隆信 先生
物語の役割と現実の異化 ―小川洋子とブレヒトを例に―

国語と歴史を合わせた哲学チックな内容の授業で、文学部に行きたい!!!と強く思いました。授業を受けて、とてもワクワクしたし、とても興味ある中身だったので、飽きないだろうと思いました。文学部だと就職に困らないか?とも考えることはあるけれども、特に将来の夢が決まっていない今の私なら、知の欲求を満たせる学部、つまり、文学部に進学すべきなのかなと思いました。(Nさん)



★第5分科会 山形大学 地域教育文化学部 中井 義時 先生
「教員の仕事」の魅力と生きがい

「プロの教師」とは、子ども達が自由に自分達で考えながら学べるように、陰で班分けなど、子ども達1人1人のことを考えて、温かく見守る先生だとわかった。子ども達のことをよく知るためにはコミュニケーションが重要で、子どもだけでなく、親やもっと年上の人達など、誰とでも話せることが大切だと思った。今までに出会った先生のことを思い出し、たくさん支えてもらったことを忘れないようにしたいと思った。(Oさん)



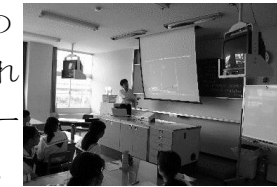
★第6分科会 東北大学 工学部 電気情報理工学科 バイオ・医工学コース 宮本 浩一郎 先生
私たちの生活と化学センサ

今回の講義の中で一番印象に残ったのは、研究の楽しさは恋愛のワクワクに似ているというものでした。今までは工学にそこまで興味がなかった訳ではないけれど、興味がわきました。工学は発明する学問で、「ありがとう」と言われた人に向いていて、理学は「すごいね」と言われた人に向いているとおっしゃっていたので、自分はどっちなのか考えてみようと思いました。(Aさん)



★第7分科会 新潟大学 農学部 原 崇 先生
機能性食品と腸内細菌の話

農学のイメージは、米、農作物 etc...というものだったので、今回の講義の話題だった「食品」は、今までにない、私の中の「農学」の世界を広げてくれました。一口に農学部と言っても、その内容は多岐に渡り、これまでノーマークでしたが、思わず視野に入れようか、と検討するくらい新鮮な内容でした。気になった部分を、自分で少し掘り下げていきたいです。(Mさん)



★第8分科会 東北大学 大学院 医学系研究科 丸山 良子 先生
ひとのからだをみる ―見る、診る、看る―

今回、「ひとのからだをみる―見る、診る、看る―」という講義名でお話しいただいて、医療はどんどん発展しているけれど、一番大切なのは、医療に関わる人の能力・意識など、基本的な部分なのだということがわかりました。医療は生物学・化学に頼って行うことが多くなるのはわかりますが、「コミュニケーション」がすごく大切だと知りました。病気などをもつ患者さんの心に寄り添い、適切なコミュニケーションで希望や元気を与えられる人になれるよう、日頃から意識したいと思いました。(Fさん)

